

〔令和7年度事務事業〕

I. 基本情報									
事業の位置付け									
1	堺市基本計画2025	施策との関連 寄与するKPI	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～		施策	(7)生涯にわたる多彩なスポーツライフの実現	
			有	取組の方向性	①スポーツ・運動習慣定着による健康増進				
			有・無	指標名	スポーツ・運動習慣者割合（1回30分以上の運動を週2回以上行う者）				
	堺市SDGs未来都市計画 2021-2025	施策との関連 寄与するKPI	有	現状値	23.7%(2017年度)		目標値	50.0%(2025年度)	
			有・無	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を		ターゲット	3.4	
			有	取組	スポーツ・運動習慣定着による健康増進				
			有・無	指標名	健康寿命				
			有	現状値	男性：72.82年、女性：74.46年(2019年度)		目標値	男性：73.40年、女性：76.40年(2025年)	
2	関連計画			堺市スポーツ推進プラン					
3	事業開始年度			昭和 22 年度		点検対象年度（堺市基本計画2030）		令和 12 年度	
4	実施根拠			スポーツ基本法、堺市スポーツ推進委員に関する規則					
事業の概要									
5	事業の実施主体			本庁、（公財）堺市教育スポーツ振興事業団、総合型地域スポーツクラブ、地域団体					
6	事業の対象			市民				対象数	単位
								約80万	人
7	事業の目的			ライフスタイルに応じて、年齢や性別、国籍、障害の有無にかかわらず、すべての人が生涯にわたりスポーツを身近なものとして親しむことができ、豊かで健やかな生活を過ごせる地域社会の実現					
8	事業内容			○ 総合型地域スポーツクラブ ・新たなクラブの創設支援及び既存クラブの活動拡大や安定した運営体制の構築を支援することで、キーパーソンとなる人材や指導者の確保、運営ノウハウを蓄積し、地域で多様なスポーツ・運動を楽しめる環境を創出する。 ○ 堺市民オリンピック ・毎年スポーツの日に市民スポーツの祭典を実施することで、市民の健康増進、体力の向上、スポーツマンシップの向上を図る。令和7年度は第51回大会を開催。（10月） ○ トップレベルチームとの連携 ・日本製鉄堺プレイザーズ、セレッソ大阪、オリックス・バファローズ等の堺ゆかりのスポーツチームと連携し、企業版ふるさと納税を活用したイベントや各チームの公式戦において市民優待観戦企画を実施することで、市民がトップレベルのスポーツに触れる機会を提供する。 ○ スポーツ推進委員を通じた地域スポーツ活動の推進 ・地域のスポーツ推進の中心的存在として実技指導や助言を行っているスポーツ推進委員に各種研修や主催大会を実施することで、資質向上を図る。 ○ 運動・スポーツ習慣化事業 ・第4次スポーツ推進プラン（計画期間：令和8年度～令和12年度）の策定 ・親子で参加できるwebサイトを活用した親子体力測定会 ・令和5年度に大阪公立大学と連携して作成した体力測定の結果をもとに、適性のあるスポーツ種目を提案する webサイト（未就学児～小学 2年生対象）に大人向けの機能（BMIの測定、体力年齢の提示）を追加し、親子を対象とした体力測定会を実施（10月、3月） ・子育て世代に向けた取組 ・大阪公立大学と連携し、朝ヨガ体験会（10月・11月）、ピラティス体験会（12月に2回）を実施 ・中百舌鳥キャンパスを週末のジョギングコースとして利用できるようコース設定し、怪我をしにくいジョギングフォーム等のレクチャーやメニューを提案する週末ジョガー講座を実施（11月、2月） ・WMG2027関西機運醸成に向けた取組 ・民間企業等に対して周知協力の依頼を行い、ポスターの掲示及びりフリーットの配架を実施。 ・区民まつり（堺市内7区すべて）において、来場者を対象に、WMG2027オリジナル缶バッジの作成体験及び公式SNSアカウントのフォローキャンペーンを実施。 ・大会開催にむけた準備を実施					
	※国・府の基準より上回って実施した内容			—					
9	主な支出先			（公財）堺市教育スポーツ振興事業団、堺市民オリンピック委員会、総合型地域スポーツクラブ、WMG2021関西堺市実行委員会					
10	公民連携・協働事業			総合型地域スポーツクラブによる地域スポーツ活動の実施、トップレベルチームとの連携によるスポーツ教室の開催、大学と連携した運動習慣化事業の実施					

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標
	堺市民オリンピック参加者数	人		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
			目標値	7,000	7,000	6,000	6,000
			実績値	5,831	6,239		
			達成率	83%	89%		
当該指標を選定した理由	市内全域を対象としてスポーツを通じた地域交流の場となっている本イベントの参加者数は地域スポーツ活動の状況を示す指標となるため						
目標値の設定根拠・算出方法	市の人口が減少傾向にあることを考慮し、参加者数の維持を目標とする						
12	活動指標	単位		実績		目標	
	総合型地域スポーツクラブ会員数 (設立準備団体含む)	人		令和6年度	令和7年度	令和8年度	
			目標値	700	700	1,050	
			実績値	899	969		
			達成率	128%	138%		
当該指標を選定した理由	幅広い年代の市民が身近な地域でスポーツに親しむことができるクラブであり、会員数は習慣的に運動を行う市民が増加していることを示す指標となるため						
目標値の設定根拠・算出方法	各区1クラブの設置をめざし、安定的運営のため各クラブ150人の会員獲得を目標とする（7クラブ×150人）						

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	スポーツ推進事業	事業番号	008-091
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和5年度	令和6年度	令和7年度		令和8年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	67,210	89,643	90,434	71,061	113,229
	財源内訳					
	国支出金	0	0	0	0	0
	府支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他（日本スポーツ振興センター助成金、基金繰入金）	7,749	21,482	26,264	13,218	16,879
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
14	一般財源	59,461	68,161	64,170	57,843	96,350
	人件費（b）	43,100	43,000	64,800	64,800	76,200
15	年間経費（c）=（a）+（b）	110,310	132,643	155,234	135,861	189,429

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		R7	R8				R7	R8		
16	事業費内訳	堺市教育スポーツ振興事業団・堺市スポーツ協会・堺市スポーツ少年団補助金	決算	33,758	32,968	総合型地域スポーツクラブ推進ネットワーク堺負担金	決算		612	612
			予算	34,117	34,117		予算		1,000	1,000
		堺市民オリンピック開催負担金	決算	12,641	9,204	ワールドマスターズゲームズ2027関西開催準備負担金【拡充】	決算		3,363	3,363
			予算	14,000	14,000		予算		33,461	33,461
		総合型地域スポーツクラブ運営・創設支援補助金	決算	3,801	0	親子で楽しむアーバンスポーツ体験教室【新規】	決算		0	0
			予算	11,448	0		予算		3,300	3,300
		堺市学生スポーツ競技大会出場奨励金	決算	3,770	0	ウォーキングイベント事業【新規】	決算		0	0
			予算	5,000	0		予算		820	820
		日本製鉄堺プレイザーズユニフォーム市章掲載等PR料	決算	4,000	4,000	その他	決算		9,116	7,696
			予算	4,000	4,000		予算		6,083	5,652

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

	区 分	単位	令和6年度	令和7年度
17	①	堺市民オリンピック参加者数	人	5,831
	②	上記①にかかる年間経費	千円	12,404
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	2,127
	算出についての説明等			2,026

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	○堺市民オリンピックについて、年間経費は増加したものの、新たな同時開催イベント実施等により参加者数も増加した結果、前年度より費用対効果は高くなった。 ○運動・スポーツ習慣化事業は、事業実施に際し、民間事業者や大学に協力いただき、経費を抑えることができたため、費用対効果は高い。
----	--

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	○令和7年度の堺市民オリンピックは全競技を実施し、参加者は6,239人であった。市内全校区が一堂に会し、地域交流や日頃のスポーツ活動の成果を発表する機会となる堺市民オリンピックは、市民の日頃のスポーツ活動のモチベーションになりうるものであり、スポーツ活動の習慣化に寄与した。 ○トップレベルチームとの連携では、本市でホームゲームを行う日本製鉄堺プレイザーズと連携し、2,100人を無料招待するプレシーズンマッチを開催した。併せて同時開催イベントとして健康増進関連ブースの出展や大浜公園相撲場の無料解放イベントを実施し、当日来館された約2,300人の方にスポーツや大浜だいしんアリーナと周辺地域の魅力を知っていただくきっかけとなった。 ○運動・スポーツ習慣化事業は、親子で参加できるイベントや子育て世代に向けたイベントを実施し、イベント実施後に行ったアンケートでは、継続して運動することに意欲を持った方やイベントをきっかけに今後運動したいと思った方が多く、運動機会の創出と習慣化のきっかけとなった。
----	---

令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）

20	必要性	■ 高い □ 低い	堺市基本計画2025で設定したKPI（スポーツ・運動習慣者割合（1回30分以上の運動を週2回以上行う者））について、様々な事業を実施したことにより、大幅に上昇し、目標値である50%を超えている（令和7年度時点53.8%）ことから、本事業の必要性及び有効性は高いものと判断。
	有効性	■ 高い □ 低い	